

習志野市議会議員

No. 127

藤崎ちさこニュース

ホームページ 藤崎ちさこ <検索

メール Chisako.fujisaki.narashino@gmail.com

2019年8月6日
藤崎ちさこ後援会
習志野市津田沼
7-18-1
☎ 090-8312-7845



厚労相が見直しを、

重度訪問介護

7月の参議院選挙で、24時間の介護を受ける「れいわ新選組」の船後靖彦、木村英子両氏が初当選したことをきっかけに「仕事中の障害者介助」が注目を集め、制度の見直しが求められています。現制度の下では両氏は、登院や国会内での移動で、介助が受けられなくなるという問題が表面化しました。重い障害のある人が日常生活で介助を受ける「重度訪問介護」サービスは、仕事中には受けられないためです。

厚生労働省は、6月に成立した改正障害者雇用促進法の下、7月に「障害者雇用・福祉連携強化プロジェクトチーム」を設置しています。根本厚労相は、障害者が働く際に必要になる介助は、重要な課題と受け止め、「プロジェクトチームを中心にしっかりと議論していきたい」としています。重い障害がある人たちが働きやすい環境整備のため、しっかりと取組んで欲しいです。

【解説】

重度訪問介護サービスは、重い障害があり常時介護が必要な人が、食事、排せつの援助や、外出の支援などを受けられる制度。自己負担は最大1割。ただし、「通勤や営業活動などの経済活動にかかる外出」は対象外となる。

原爆死没者慰霊および 平和祈念式典

今年も秋津公園内の「平和の広場」において、原爆で亡くなられた方々のご冥福と、恒久平和の実現を祈念し、黙とうを捧げる式典が催されました。

日時：8月6日（火） 午前8：13～
8月9日（金） 午前11：00～



毎年、地域のみなさん、市民団体のみなさん、市議会議員、市職員等が参加し、亡くなられて方々に黙とうを捧げ、献水・献花・千羽鶴の献納が行われます。第7中学校の生徒さんの合唱が、荘厳さを高めてくれます。

74年前の戦争と原爆の悲惨さは忘れることなく後世に伝え、戦争の無い世界の実現を目指さなければなりません。

谷津干潟

カルガモの親子が仲良く歩く姿

先般の6月市議会では、「谷津干潟自然観察センター」の「入館料」、「年間パスポート」などの使用料が1,5倍の値上げとなる改定が可決されてしまいました。

その谷津干潟では約10種類のカモの仲間を見ることができます。その中でもカルガモは1年中見られますが、春先に、親鳥が可愛らしいヒナを連れて歩く姿は、よく話題となりますね。

カルガモは基本的には湖や池、川などの淡水域に暮らしていますが、谷津干潟で暮らすカルガモのように、まれに海辺や汽水域に暮らすものもいます。谷津干潟でカルガモが一番注目されるのは6~7月です。多くの野鳥が子育てにいそしむ時期です。ヒナが親鳥の後ろに列を作って歩く姿は、とても可愛らしいですが、観察していると自然界の厳しさを見ることがあるようです。この頃の親は警戒心が強く、別のカルガモ親子が近づいてくると、親は追いかけて回し、時には他のヒナを水の中に沈めてしまうことがあります。ヒナは約2カ月で親とほぼ同じ大きさになり、谷津干潟だけでなく他の場所にも移動していきます。

♥ 谷津駅地域ツバメの追記

京成谷津駅に毎春訪れ子育てをしている「地域ツバメ」。今年は例年より、営巣の期間がかなり長いようです。気候変動の影響でしょうか、確かな要因はわかりませんが、同じ巣で複数回、子育てをしているように見えます。

7月の終わり頃に谷津駅のツバメを見ることができたのは、今年が初めてです。写真では、はっきり見えないのですが、3羽の大きくなったヒナが、羽を動かして巣立とうと試みてはまた巣にもぐることを繰り返す姿が、とても愛おしいです。



習志野高校、8年ぶり9度目！

春夏連続の甲子園

7月26日、市立習志野高校が春夏連続の甲子園出場を決めました。

8月3日の組み合わせ抽選会で、1回戦の対戦相手は沖縄県の沖縄尚学と決まり、本日8月6日の開会式を迎えます。「あきらめない」粘り強い野球を期待しています。

